

## 土木学会選奨土木遺産認定書授与式を開催します！ ～元町・山手地区の震災復興施設群が認定されました～

1923 年の関東大震災後に整備され、現在横浜市で管理している山手隧道、櫻道橋、西の橋、谷戸橋、打越橋が、「元町・山手地区の震災復興施設群」として、平成 27 年度の土木学会選奨土木遺産に認定されました。  
つきましては、土木学会選奨土木遺産認定書授与式を開催しますのでお知らせ致します。

### 1 認定式の概要

#### (1) 日時

平成 27 年 11 月 26 日（木）13時から13時30分

#### (2) 場所

横浜関内ビル 9 階 道路局長室（横浜市中区港町 2-6）

#### (3) 出席者

- ・小方武雄 氏（前選奨土木遺産関東支部選考委員長）
- ・中藤誠二 氏（選奨土木遺産関東支部選考委員／関東学院大学理工学部准教授）
- ・山崎仁 氏（選奨土木遺産関東支部選考委員／首都高トールサービス神奈川(株)）
- ・手塚文雄 横浜市道路局長

※取材される場合は直接会場にお越し下さい

### 2 選奨土木遺産に認定された施設

#### 【山手隧道・櫻道橋】 1928 年（昭和 3 年）完成

市内の復興事業でも最大級の規模。山手隧道は戦前の道路用トンネルとしては最大級の幅員で、外観表面は石張り仕上げとなっている。上路式アーチ形式である櫻道橋は、隣接する山手隧道と同様に化粧石張りが施されており、景観調和が図られている。

#### 【西の橋・谷戸橋】 1926 年（大正 15 年）、1927 年（昭和 2 年）に完成

開港場の整備にあたり開削された堀川に架けられた橋であり、横浜の都市の歴史を振り返った場合に重要な位置にある。震災後に復興事業の一環で技術が普及した鋼アーチ形式となっている。谷戸橋の親柱はアールデコ調のデザインでシンボル性が高い。

#### 【打越橋】 1928 年（昭和 3 年）完成

切通しに架けられた橋梁で、当該地区周辺の多くの外国人移住者を意識して建設された優れた土木遺構の一つ。上部工はアーチリブとトラス補剛材で構成される鋼ランガー橋。

<裏面あり>



やまてすいどう  
山手隧道



さくらみちばし  
櫻道橋



にし ばし  
西の橋



たんごうばし  
谷戸橋



うちこしばし  
打越橋

【参考】位置図及び施設諸元



位置図

山手隧道	竣工年 1928年(昭和3年) L=219m W=10m
櫻道橋	竣工年 1928年(昭和3年) L=14.8m W=6.3m
西の橋	竣工年 1926年(大正15年) L=32.8m W=22m
谷戸橋	竣工年 1927年(昭和2年) L=29m W=15m
打越橋	竣工年 1928年(昭和3年) L=38.4m W=7.3m

※L：橋長、W：幅員

【参考】土木学会選奨土木遺産とは

土木遺産の文化的価値を評価するとともに、先人の土木技術者の功績を讃え、歴史的土木構造物の保存に資することを目的として、公益社団法人土木学会が、平成12年度に創設した認定制度です。

※写真のデータを提供できますので、ご希望の場合はご連絡ください。

お問合せ先
道路局橋梁課長 菊地 健次 Tel 045-671-2752